

も り

# 森林とのふれあい！



**常陸大宮市立大宮北小学校 森林教室**



授業の最初に3択クイズを実施！正解は…

12月5日(金)常陸大宮市立大宮北小学校5年生の児童14名を対象に、森林教室を実施しました。

今回の森林教室は、5年生の総合的な学習の時間における環境学習の一環として、授業を設定していただきました。

子どもたちは、授業当初は緊張した面持ちでしたが、授業が進むにつれて、疑問に思ったことなどについて活発に質問をしました。



装置から出た水の色や量からどんな違いがわかる？

森林教室では、昨年同様パワーポイントを使用した授業を実施しました。

まず、私たちが住んでいる日本や茨城県の森林の分布について説明し、茨城県では、県北地域に森林が多いことや、森林のもつさまざまなはたらきについて、写真やイラストを用いながら学びました。

最後は森林の土壌と踏み固められた赤土の土壌に雨に見立てた水を流し、保水力や土砂流出の違いを見る実験を行いました。

子どもたちからは、「踏み固めた土壌からは」土がいっぱい流れ出た」「(森林の土壌は)染みこんだ水がまだ流れている」などの声が聞かれ、実験を通じて森林のもつはたらきの一端を感じることができたのではないかと思います。

森林のもつはたらきは、お金に換算できるものだけでも日本の国家予算に匹敵するとも言われています。これらははたらきを守り大きくすることができるよう、今後多くの方に伝える・気づく取組を行っていききたいと思っています。

## 森林ひとくちメモ③

(おいしい水は森林から)

森林に降った雨水は、ゆっくりと森林の土壌に浸透します。森林の土壌には、浸透していく際に有害な物質などを除去するはたらきがあります。(フィルター効果) また、土壌中のミネラルが溶け出て、おいしい水がつくられています。

おいしい水は、森林からの贈り物と言えるでしょう。

